

モダンな時代を偲ぶ1年に

平成23年は大正百年



15年と短い時代でしたが、今の私たちに大きなものを残してくれた大正。1912年7月30日の大正元年から数えて、ことしで百年を迎えます。市では古き良き大正時代を振り返り、さまざまな大正を探る事業を平成19年から行っています。そして大正百年を切っ掛けに、日本大正村がある当市から、全国に情報発信していきます。ここでは、これから1年間の大正百年事業について紹介します。
□問い合わせ 観光交流室（内線530）

大正時代ってどんな時代

大正デモクラシーによる大衆や女性の地位向上を背景として、産業や生活、文化などさまざまな分野で新しいことが始まった大正時代。この時代に生まれたものや始まったことは、現代の礎となり私た

ちの暮らしに大きな影響を与えてきました。

大正時代の代表的な児童雑誌「赤い鳥」。創刊は大正7年で、芥川龍之介や新美南吉、北原白秋など、著名な作家の童話や童謡が掲載され、高い文学性が注目されました。大正14年、日本のラジオ放送が幕を開けました。当時

この最先端技術は民衆からの期待も大きく、加入件数が開始当初の3千5百件から、1年とたたないうちに、10万件ほどに増えていきました。

東京を中心とした都市部に、数々の「カフェー」が生じたのもこの時代。流行に敏感な書家や文士たちの交流の場として、にぎわいました。

大正村を激論の末に建設

明智町の市街地全体に残る大正モダンの建物や、大正時代の文化から日常生活までの歴史資料を、街全体で展示しているのが日本大正村。これは、全国でも唯一の博物館でもあります。

昭和50年代、急速な過疎化となっていた明智町。それに追い討ちを掛けるように、国鉄は明知線の廃線の方針を示しました。

▶大正を感じさせる蓄音機。大正時代館や大正村資料館で展示。



当時、時代に取り残されないかという危機感の中、文芸写真家の故澤田正春氏から提案のあった構想が「大正村の看板を立てれば、人はきっと集まる」というものでした。

明智町観光協会のメンバーによる激論の末、昭和58年に大正村建設を決定し、準備委員会を発足。翌年には、旧明智町役場に事務所を設置し「日本大正村役場」の看板を掲げました。そして澤田氏の構想どおりに、多くの観光客が訪れるようになりました。

その後、観光客を迎えるため、不十分だった環境の整備を実施。昭和63年には、開村式を行いました。初代の村長は故高峰三枝子さん。現村長の司葉子さんは、平成11年に二代目として就任し、今回の大正百年事業実行委員会の委員長も務めています。

この契機に情報発信する

大正は、15年という短い存在でしたが、日本人にとってかけがえのない時代。「平成23年は大正百年」と、大正のロマンやモダンを偲びつつ、その大正の魅力を全国に先駆け情報発信できるのは、日本大正村のある当市のみです。平成19年度から実施している大正百年のカウントダウン事業。そこでは、大正を次世代へ引き継いでいきたいと、大正の魅力を再確認して、この平成の時代に生かしていること、検証してきました。

これまでの集大成の「大正百年事業」を契機として、観光人口の拡大と、地域振興につながるよう市民の皆さんと事業を展開していきます。



▲日本大正村役場。明治39年に建てられ昭和32年まで使用。平成11年には文化庁の登録有形文化財に指定。



口館の正面に、大正時代のタペストリー「大正百年の誘い」を展示している。また、大正時代の資料館には、大正時代の銀行の6室を再現している。また、大正時代の資料館には、大正時代の資料を展示している。



記念イベント

1月

大正百年オープニングセレモニー

□とき 1月1日(出)
大正百年の幕開けを飾り、明智町千畳敷公園からの花火の打ち上げや40級級のイルミネーション、越年マラソン(本紙22頁参照)

2月

山本芳翠・水墨画展

□とき 1月20日(木)〜2月6日(日)
□ところ 大正ロマン館
企画展「郷土の画家 山本芳翠」
□とき 1月20日(木)〜2月27日(日)
□ところ 中山道広重美術館

日本大正村おひなまつり

街角に飾られる段飾りや、3月19日(日)からは明智文化センターに飾られる1500体の土雛が登場
□とき 2月11日(金)〜4月3日(日)

1月

大正百年オープニングセレモニー

□とき 1月1日(出)
大正百年の幕開けを飾り、明智町千畳敷公園からの花火の打ち上げや40級級のイルミネーション、越年マラソン(本紙22頁参照)

2月

山本芳翠・水墨画展

□とき 1月20日(木)〜2月6日(日)
□ところ 大正ロマン館
企画展「郷土の画家 山本芳翠」
□とき 1月20日(木)〜2月27日(日)
□ところ 中山道広重美術館

日本大正村おひなまつり

街角に飾られる段飾りや、3月19日(日)からは明智文化センターに飾られる1500体の土雛が登場
□とき 2月11日(金)〜4月3日(日)

3月

サクラの記念植樹

約5000本のサクラを、大正百年を祝して市内全域に植樹
□とき 3月下旬

4月

大正に関する企業展

□とき 企業 5月〜6月・未定
▽7月〜8月・江崎グリコ(株)
▽9月〜10月・ホーユー(株)
□ところ 大正ロマン館

5月

ちよっとおんさい祭

□とき 5月3日(火)〜5日(木)
武者行列が練り歩く「光秀祭り」は3日、子どもたちによる「わんぱく相撲」は5日に開催

6月

日本大正村バラ祭

約800株のバラが園内に咲き誇ります
□とき 5月下旬〜6月中旬
□ところ 大正ロマン館

7月

ぎおん祭

□とき 7月15日(金)〜17日(日)



▲日野原重明先生

大正浪漫シンポジウムin名古屋大会
100歳になる日野原先生を迎え開催
□とき 6月5日(日)
□ところ 名古屋市国際会議場白鳥ホール
□講師 日野原重明先生(聖路加国際病院名誉院長)



▲多くのランナーが駆け抜けるクロスカントリー



▲創業時(大正11年)から昭和3年の江崎グリコのマーク

日本大正村バラ祭のときの大正ロマン館▼



▼山本芳翠「灯を持つ乙女」(県美術館寄託)



▲尺球を打ち上げる明智の花火大会

恵那納涼花火大会

夜空と湖面が彩られる恵那峡の花火
□とき 7月30日(土)

明智町納涼花火大会

町全域に尺球の音声が鳴り響く
□とき 8月14日(日)

8月

大正改元祝賀会

明治から大正に改元された1912年7月30日を記念して、記念式典やちょうちん行列、夜市などを実施
□とき 7月31日(日)
□ところ 明智かえでホール・明智文化センターなど

9月

日本大正村お月見の会

約600個のあんどんが大正ロマン館周辺で幻想的な明かりをともします
□とき 9月24日(土)
□ところ 旧三宅家・大正ロマン館

10月

大正浪漫「竹久夢二」企画展

大正ロマンの象徴ともいえる画家・竹久夢二の、芸術と恋愛をクロスアップすると同時に、この時代にみる女性のライフスタイルや流行風俗、文化生活を多角的に紹介します
□とき 10月29日(土)〜12月4日(日)
□ところ 大正ロマン館



▲竹久夢二「mail」

11月

東京駅「赤れんが」はめ込み式

東京駅の改修に伴い、JR東日本から譲り受けた2個の赤れんがを明智駅にはめ込みます
□とき 11月



▲総決起大会のちょうちん行列



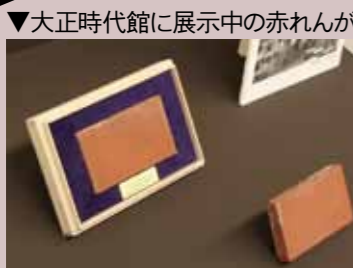
日本大正村のイメージキャラクター「大正ちゃん」

大正時代のファッションショーなどの大正文化祭と、産業と文化の祭典
□とき 11月5日(土)〜6日(日)
□ところ 大正ロマン館・明智かえでホール・明智文化センターなど

大正百年サミットin日本大正村

大正をテーマに地域振興に取り組んでいる団体が一堂に会してサミットを実施
□参加団体 大正筋商店街振興組合(神戸市長田区)、会津若松市七日町通りまちなみ協議会(福島県会津若松市)、与野銀座商店街協同組合(さいたま市中央区)、日本大正村など
□とき 11月20日(日)
□ところ 明智かえでホール

12月



▼大正時代館に展示中の赤れんが

▲光秀まつりでの司葉子村長。今回の実行委員会・委員長も務め、大正百年を契機に大正村の活性化を目指している

▲大正時代のファッションショー(かえでまつり)